

平成 28 年度

保健師助産師看護師実習指導者講習会

募 集 要 項

横浜市立大学

1. 目的

看護教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるように、必要な知識・技術を習得し、看護職員の資質の向上を図ることを目的とする。

2. 主催

横浜市立大学医学部看護学科

3. 期間

平成 28 年 8 月 1 日(月)~12 月 14 日(水)

全日数:40 日程度

※授業日数は、変動する場合があります。

4. 場所

横浜市立大学医学部看護学科看護教育研究棟

236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

電話:045- 787-2538

※敷地内で場所の変更が生じる場合があります。

※実習場所は、主に横浜市立大学附属 2 病院となります。

5. 受講人員

40 名

6. 応募資格

次の(1)及び(2)の要件を満たす者

(1)神奈川県内の病院等に勤務し、所属長の推薦がある者

(2)保健師、助産師、看護師の資格取得後 3 年以上の実務経験を有し、現在、病院等で実習指導を担当している者、又は今後担当する予定の者(実務経験年数は平成 28 年 4 月 30 日現在とする)

7. 教育内容

【教育目的】

看護教育についての理解を深め、実習指導に必要な知識・技術を習得し、効果的な実習指導ができる人材を育成する。

【教育目標】

1. 実習指導の基礎となる教育的素地を養う。
2. 自己の看護実践を振り返り、看護に対する認識を深める。
3. 看護教育における臨地実習の意義を理解し、実習指導者の役割について学ぶ。
4. 実習指導の実際を振り返り、自己の課題を見つけ、学習を継続する態度を養う。

8. 修了証書

講習会修了者には、修了証書を交付する(全体の 4/5 以上出席が必要である)

9. 提出書類

(1) 受講申込書(様式 1-1)

(2) 推薦書(様式 1-2)

(3) 受講者の課題

「講習会参加にあたっての自身の課題とその理由」「自身が看護学生に伝えたい看護」「実習指導者講習会で学びたいこと」のいずれかの課題についての小論文とする。

一小論文用紙に実習指導者講習会、所属名、氏名、課題、具体的内容の順にパソコン(原則)で記入して頂き、応募時に提出書類とともに同封し提出すること。以上の内容が書いてあれば、書式は問わない。ただし、フォントは明朝体 11、文字数は 1,200-1,400 字で、A4、1 枚に収め、具体的内容を開始する前には、空行を数行設けること。

10. 提出期日

平成 28 年 5 月 31 日(火)(当日消印有効)

11. 提出先

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

公立大学法人 横浜市立大学

医学・病院統括部

福浦キャンパス学務・教務課 看護学担当

12. 受講者の決定

選考の上、所属施設長(看護部長)あてに通知する。

13. 受講料

20,000 円

※ただし、e-learning の費用、バインダー代、書籍・テキスト代、交通費は自己負担となります。

※受講料振込みの案内は、後日受講者宛に通知の予定です。

【カリキュラム】 科目・担当講師一覧

科目	時間	担当講師等	所属	職名
【教育に関する科目】				
教育原理*	6(30)		*e-learning	
教育心理*	18(30)		*e-learning	
教育方法** :指導の基本的考え方 :講義・演習	30(15)		*e-learning	
	15	勝山貴美子	横浜市立大学医学部看護学科	教授
教育評価*	6(15)		*e-learning	
看護(教育)論:看護の理論、看護過程の展開、指導困難な場合の対処等	18	佐藤政枝	横浜市立大学医学部看護学科	教授
看護教育課程:(1)看護教育課程の理解	4	学科長 叶谷由佳	横浜市立大学医学部看護学科	教授
: (2)カリキュラムの構成と 実習のねらい	4	渡部節子	横浜市立大学医学部看護学科	教授
: (3-1)各領域の教育課程 (基礎、成人(慢性期)、成人(急性期) 小児、母性、老年・在宅、精神、地域)	16	田高悦子 (各領域教員)	横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学医学部看護学科	教授
: (3-2)課題の構造化	6	田高悦子	横浜市立大学医学部看護学科	教授
【看護実践に関する科目】				
医療倫理・看護倫理	2	勝山貴美子	横浜市立大学医学部看護学科	教授
学生に関する情報収集とアセスメント、 指導目標の設定と方法	4	森みずえ	横浜市立大学医学部看護学科	教授
指導場面で遭遇しやすい看護実践と指導の 実際 (基礎、成人(慢性期)、成人(急性期) 小児、母性、老年・在宅、精神、地域)	16	柏木聖代 (各領域教員) 杉浦由美子 谷川一美	横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター	教授 看護部長 看護部長
実践管理:インシデント、ヒヤリ・ハット	2	渡部節子	横浜市立大学医学部看護学科	教授
多職種連携・チーム医療・継続医療	2	陣田泰子	看護キャリア開発支援センター	センター長
【実習指導等に関する科目】				
実習指導の原理:学校と実習機関調整 :臨床指導者の役割と実際 :病棟指導の実際(オリエンテーションからカンファレンスまで)	14	陣田泰子 渡部節子 杉浦由美子 谷川一美	看護キャリア開発支援センター 横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター	センター長 教授 看護部長 看護部長
臨地指導法演習 :フィジカルアセスメント :実習に必要な看護技術	16	赤瀬智子 杉浦由美子 谷川一美	横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター	教授 看護部長 看護部長
実習指導の実際(1)~(2) :実習指導の計画立案 :臨地実習 :リフレクション	56	廣瀬幸美 佐藤政枝 (各領域教員) 杉浦由美子 谷川一美 (実習指導者)	横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター	教授 教授 看護部長 看護部長
実習指導の評価	16	中村幸代 杉浦由美子 谷川一美	横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター	教授 看護部長 看護部長
看護師2年課程通信制の教育制度	4	松下年子	横浜市立大学医学部看護学科	教授

*:授業に e-learning を採用 ** :授業の一部に e-learning を採用

※ 時間欄の()内は、e-learning 形式の授業時間数を示します。

※ 担当講師は都合により、変更することがあります。

平成 28 年度 実習指導者講習会日程表

日程	実施年月日	【午前】	【午後】
		科目名	科目名
		(1 限)8:30~9:30 (2 限)9:35~10:35 (3 限)10:45~11:45 (4 限)11:50~12:50	(5 限)13:40~14:40 (6 限)14:45~15:45 (7 限)15:55~16:55 (8 限)17:00~18:00
第 1 日目	8 月 1 日 (月)	開講式・オリエンテーション 親睦会	看護(教育)論①②③④
第 2 日目	8 月 2 日 (火)	看護(教育)論⑤⑥⑦⑧	看護(教育)論⑨⑩⑪⑫
第 3 日目	8 月 3 日 (水)	看護(教育)論⑬⑭⑮⑯	看護(教育)論⑰⑱
			医療倫理・看護倫理①
			教育心理①*(e-learning)
第 4 日目	8 月 8 日 (月)	教育原理①②③④*(e-learning)	教育原理⑤⑥⑦⑧*(e-learning)
第 5 日目	8 月 9 日 (火)	教育原理⑨⑩⑪⑫*(e-learning)	教育原理⑬⑭⑮⑯*(e-learning)
第 6 日目	8 月 17 日 (水)	教育原理⑰⑱⑲⑳*(e-learning)	教育原理㉑㉒㉓㉔*(e-learning)
第 7 日目	8 月 18 日 (木)	教育原理㉕㉖㉗㉘ *(e-learning)	教育原理㉙㉚*(e-learning)
			教育方法論①②*(e-learning)
第 8 日目	8 月 22 日 (月)	教育方法論③④⑤⑥ *(e-learning)	教育方法論⑦⑧⑨⑩ *(e-learning)
第 9 日目	8 月 23 日 (火)	教育方法論⑪⑫⑬⑭ *(e-learning)	教育方法論⑮*(e-learning)
			教育心理②③④*(e-learning)
第 10 日目	8 月 31 日 (水)	教育方法論①②③④ 講義・演習	教育方法論⑤⑥⑦⑧ 講義・演習
第 11 日目	9 月 1 日 (木)	教育方法論⑨⑩⑪⑫ 講義・演習	教育方法論⑬⑭⑮ 講義・演習
			医療倫理・看護倫理②
第 12 日目	9 月 5 日 (月)	指導場面で遭遇しやすい看護実践 と指導の実際(各領域)①②③④	指導場面で遭遇しやすい看護実践 と指導の実際(各領域)⑤⑥⑦⑧
第 13 日目	9 月 6 日 (火)	指導場面で遭遇しやすい看護実践 と指導の実際(各領域)⑨⑩⑪⑫	指導場面で遭遇しやすい看護実践 と指導の実際(各領域)⑬⑭⑮⑯
第 14 日目	9 月 12 日 (月)	教育心理⑤⑥⑦⑧*(e-learning)	教育心理⑨⑩*(e-learning)
第 15 日目	9 月 13 日 (火)	教育心理⑪⑫⑬⑭*(e-learning)	教育心理⑮⑯⑰⑱*(e-learning)
第 16 日目	9 月 20 日 (火)	教育心理⑲⑳㉑㉒*(e-learning)	教育心理㉓㉔㉕㉖*(e-learning)
第 17 日目	9 月 21 日 (水)	看護教育課程(1)①②③④ 看護教育課程の理解	看護教育課程(2)①②③④
			カリキュラムの構成と実習のねらい
第 18 日目	9 月 26 日 (月)	看護教育課程(3-1)①②③④ 各領域の教育課程	看護教育課程(3-1)⑤⑥
			教育心理㉗㉘*(e-learning)

第 19 日目	9 月 27 日 (火)	看護教育課程 (3-1)⑦⑧⑨⑩	看護教育課程 (3-1)⑪⑫
		各領域の教育課程	各領域の教育課程 教育心理⑳㉑* (e-learning)
第 20 日目	9 月 28 日 (水)	看護教育課程 (3-1)⑬⑭⑮⑯	教育評価①②③④ * (e-learning)
第 21 日目	9 月 30 日 (金)	学生に関する情報収集とアセスメント①②③④	実践管理①②
			多職種連携等①②
第 22 日目	10 月 5 日 (水)	看護教育課程 (3-2)⑰⑱⑲⑳	看護教育課程 (3-2)㉑㉒
			課題の構造化 教育評価⑤⑥* (e-learning)
第 23 日目	10 月 11 日 (火)	教育評価⑦⑧⑨⑩* (e-learning)	教育評価⑪⑫⑬* (e-learning)
第 24 日目	10 月 13 日 (木)	実習指導の原理①②③④	実習指導の原理⑤⑥⑦
第 25 日目	10 月 17 日 (月)	実習指導の原理⑧⑨⑩⑪ 学校と実習施設との調整	実習指導の原理⑫⑬⑭ 学校と実習施設との調整
第 26 日目	10 月 19 日 (水)	臨地指導法演習①②③④ フィジカルアセスメント他	臨地指導法演習⑤⑥⑦⑧ フィジカルアセスメント他
第 27 日目	10 月 20 日 (木)	臨地指導法演習⑨⑩⑪⑫ フィジカルアセスメント他	臨地指導法演習⑬⑭⑮⑯ フィジカルアセスメント他
第 28 日目	10 月 25 日 (火)	教育評価⑭⑮* (e-learning)	実習指導の実際(1):実習指導の計画立案(講義・演習)③④⑤⑥
		実習指導の実際(1):実習指導の計画立案(講義・演習)①②[3,4 限]	
第 29 日目	10 月 26 日 (水)	実習指導の実際(1):実習指導の計画立案(講義・演習)⑦⑧[3,4 限]	実習指導の実際(1):実習指導の計画立案(講義・演習)、(臨地実習オリエンテーション含む)⑨⑩⑪⑫
第 30- 34 日目	11 月 7 日(月) ～5 日間	実習指導の実際(2):臨地実習1クール目①～④⑩:20 名	
	11 月 14 日(月) ～5 日間	実施指導の実際(2):臨地実習2クール目①～④⑩:20 名	
第 35 日目	11 月 24 日(木)	看護師 2 年課程通信制教育制度 ①②③④	実習指導の実際(2) (リフレクション) ①②③④
第 36 日目	11 月 28 日(月)	実習指導の評価①②③④	実習指導の評価⑤⑥⑦⑧
第 37 日目	11 月 29 日(火)	実習指導の評価⑨⑩⑪⑫	実習指導の評価⑬⑭⑮⑯
第 38 日目	12 月 14 日(水)	閉講式	

※1) ①②③…の数字は講義回数(各1時間)を示しています。

※2) 本表における e-learning 受講日時はモデルケースの一例であり、各自の自己学習計画に沿った受講スケジュール調整が可能です。

なお、情報処理教室(401)にて学習することが可能です。

「保健師助産師看護師 実習指導者講習会」申込書

平成 年 月 日現在

フリガナ		フリガナ		写真 3×4cm
氏名	印	現住所	〒 — Tel () e-mail @ ※確実に連絡がとれる個人アドレスを記入してください。	
性別	男 ・ 女			
生年月日 (年齢)	年 月 日 (満 歳)	勤務先 (留署名)	〒 — Tel ()	
学 歴 (高等学校卒業以降の学歴をご記入下さい)				
年 月		事 項		
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
職 歴 (実務経験及び実習指導経験、専門分野と職位をご記入下さい)				
年 月		事 項		
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
現在の職位又は役職() / 実務年数 計()年				
免 許 ・ 資 格 (保健医療に関する事項)				
年 月		事 項		
年 月 日		(免許番号)		
年 月 日		(免許番号)		
年 月 日		(免許番号)		
年 月 日		(免許番号)		
〈緊急連絡先〉				
住所 〒 —				
Tel (携帯電話) ()				

平成 28 年度 実習指導者講習会 科目の概要

科目	概要
教育原理	教育の意義、教師のあり方や生徒指導、さらには教育を成り立たせている法や制度等、幅広い観点から教育の基礎について理解する。
教育心理	社会の変化や人間の成長発達、性格の特徴といった観点から、教育の受け手である子どもや青年の特徴について理解する。
教育方法論	日本の教育の特徴を踏まえて、教育と学びの歴史、学習指導の実際と指導技術、いろいろな指導法について理解し、事例研究的教授法について実習する。
教育方法論（講義・演習）	学習者の理解と、学習者を動機づけることの意味と意義を理解する。また、教育カリキュラムの基本的要素である教育内容、方法、その効果的な教材の活用など学習する。また、自身の持つ臨床実習上の問題を、事例を通して検討することを通して、看護専門職としての効果的な教育方法について理解する。
看護（教育）論	社会の変動の中における教育と看護について理解し、その課題を明確にする。講義は、看護学教育制度の歴史的変遷と現代の看護学教育制度の現状と課題、看護の概念と理論、看護を展開する方法としての看護過程を学ぶ。
医療倫理・看護倫理	倫理とは何かという基本的な概念を理解し、なぜ、医療において倫理に注目すべきか、臨床における倫理的な課題をどのようにとらえ、考えるべきか、その道筋を理解する。
教育評価	教育評価の目的や必要となる視点や評価方法について、日本の教育改革の変遷をたどりつつ理解する。
看護教育課程（1）	看護職基礎教育課程の基盤となっている保健師・助産師・看護師学校養成所の指定規則やそれに関連する法律、国家試験出題基準の変遷や厚生労働省や文部科学省の看護基礎教育に関する報告書等の経緯を知り、現在の教育の目指す方向性について理解する。
看護教育課程（2）	本大学の設置主体や教育方針に基づいた看護学科の教育理念、目標とカリキュラムの構成について理解する。
看護教育課程（3）	各看護学領域（基礎、成人（慢性期、急性期）、小児、母性、老年・在宅、精神、地域）の教育課程について、教育目的・目標・内容、および実習指導のあり方と実際への理解を促す。また、研修生が日常感じている臨地実習指導の現状とその課題について、グループワークを通じて意見を出し合う。
学生に関する情報収集とアセスメント	近年の学生状況と生活背景を踏まえ、学生に関する情報収集の視点・方法について理解する。また、臨地での学生の事例をもとに、情報のアセスメントを行い、具体的な指導目標の設定と方法について理解する。
実習場面で遭遇しやすい看護実践と指導の実際	各看護学領域（基礎、成人（慢性期、急性期）、小児、母性、老年・在宅、精神、地域）の看護実践について、①実習場面で遭遇しやすい紙上事例の看護過程を展開、および②指導者としての立場からの学生への指導・支援のあり方と実際、の2点からグループワークを中心とした学習を展開する。
実践管理	臨床実習におけるインシデントやヒヤリ・ハットの事例や対応、学生側の心理などを紹介し、臨床実習場面における予防策、教育的支援について理解する。
多職種連携・チーム医療・継続医療	現在の医療情勢における多職種連携、多機関間の連携の重要性を知り、チーム医療や継続医療のあり方について理解する。
実習指導の原理	学生が各看護学の講義・演習により得た知識、技術を基に看護を実践し、既習の理論・知識・技術を統合、深化、検証できるように支援するための原理原則と、学校と実習施設との調整に関する具体的な方法を理解する。
臨地指導法演習	臨床実習におけるフィジカルアセスメントの事例や対応などを紹介し、臨床実習場面における教育的支援について理解するグループワークを通じて教育方法について討論する。
実習指導の実際（1）	配置された病棟の実習指導を前提に、実習指導の計画立案の実際を学ぶ。
実習指導の実際（2）	実習指導計画をもとにした臨地実習指導の実際を学ぶ。 実習指導実施後に、リフレクションを行う。
実施指導の評価	実習指導の原理を踏まえ、実習指導の実際を通して、実習指導の評価を行う。
看護師 2 年生課程通信制の教育制度	看護師 2 年生課程通信制の教育制度についての解説を行う。